

事務事業名	外国語指導助手配置管理事業		所属部局	教育委員会	単位番号	12110				
	□ 実施計画事業		所属課室	南アルプス教育推進課	課長名	飯窪 俊貴				
			所属担当	教育指導担当	担当者名	小林 智奈美				
基本政策	V	個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策	23	学校教育の充実		01	一般	10	01	02	040	02
施策	36	「生きる力」を育む学校教育の推進	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H19 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		法令根拠							
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)						
	小中学校に外国語指導助手 (ALT) を派遣し、外国語授業において「聞く・話す」ことを中心に指導を行い、児童生徒の外国語コミュニケーション能力の向上を図ること。 小学校外国語活動に伴い民間企業の研修ノウハウを活用し、小学校教員の外国語指導の向上をはかる。			項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)			
				委託料	33,696			計	33,696	

1 現状把握 (DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	26年度活動内容	27年度活動予定	⇒	⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない								
	外国語指導助手 (ALT) 9名を小中学校へ派遣。小学校外国語活動教職員研修の実施。ALTを活用した、English Camp を行う。	外国語指導助手の雇用について見直しを行い、小中学校に適切に配置する。		<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア: 外国語指導助手の派遣人数</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ: 小学校外国語活動研修参加者</td><td>人</td></tr> <tr><td>ウ: 小・中学生</td><td>人</td></tr> </table>	名称	単位	ア: 外国語指導助手の派遣人数	人	イ: 小学校外国語活動研修参加者	人	ウ: 小・中学生	人
名称	単位											
ア: 外国語指導助手の派遣人数	人											
イ: 小学校外国語活動研修参加者	人											
ウ: 小・中学生	人											
② 対象 (この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	小中学校児童生徒、教員		⇒	⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない								
				<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア: 小中学校数</td><td>校</td></tr> <tr><td>イ: 児童生徒</td><td>人</td></tr> <tr><td>ウ: 教員</td><td>人</td></tr> </table>	名称	単位	ア: 小中学校数	校	イ: 児童生徒	人	ウ: 教員	人
名称	単位											
ア: 小中学校数	校											
イ: 児童生徒	人											
ウ: 教員	人											
③ 意図 (この事務事業により対象をどのような状態にしているのか、どのように変えるのか)	市内小中学校に通う児童生徒が、外国語コミュニケーションのスキルを学ぶと同時に異文化や外国語への興味や関心を高める。		⇒	⑦ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない								
				<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア: 外国語活動を受ける5、6年生</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ: 外国語授業を受ける生徒</td><td>人</td></tr> <tr><td>ウ: 小学校外国語活動指導に当たる教員</td><td>人</td></tr> </table>	名称	単位	ア: 外国語活動を受ける5、6年生	人	イ: 外国語授業を受ける生徒	人	ウ: 小学校外国語活動指導に当たる教員	人
名称	単位											
ア: 外国語活動を受ける5、6年生	人											
イ: 外国語授業を受ける生徒	人											
ウ: 小学校外国語活動指導に当たる教員	人											
④ 上位目的 (どのような結果に結び付けるのか)	中学校教科の英語学習へ結びつける、小学校外国語活動を充実させる。ネイティブの発音やコミュニケーションスキルを習得させること。		⇒	⑧ 上位成果指標 (結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない								
				<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア: 外国語に興味を持つ児童生徒</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ:</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア: 外国語に興味を持つ児童生徒	人	イ:			
名称	単位											
ア: 外国語に興味を持つ児童生徒	人											
イ:												

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	
		国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	32,555	32,036	33,696	33,372	33,372	33,372	
		事業費計 (A)	千円	32,555	32,036	33,696	33,372	33,372	33,372	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	200	200	200	200	200	200	
		人件費計 (B)	千円	910	910	910	910	910	910	0
		(A)+(B)	千円	33,465	32,946	34,606	34,282	34,282	34,282	0
	活動指標	ア	人	8.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	
		イ	人	290.0	300.0	280.0	250.0	250.0	250.0	
		ウ	人	7,045.0	6,387.0	6,772.0	6,500.0	6,500.0	6,500.0	
	対象指標	ア	校	22.0	22.0	22.0	22.0	22.0	22.0	
		イ	人	7,045.0	6,387.0	6,991.0	6,900.0	6,900.0	6,900.0	
		ウ	人	585.0	550.0	550.0	550.0	550.0	550.0	
	成果指標	ア	人	1,595.0	1,434.0	1,556.0	1,500.0	1,500.0	1,500.0	
		イ	人	2,394.0	2,333.0	2,343.0	2,300.0	2,300.0	2,300.0	
		ウ	人	72.0	70.0	60.0	60.0	60.0	60.0	
	上位成果指標	ア	人	7,045.0	6,935.0	6,991.0	6,700.0	6,700.0	6,700.0	

(3) この事務事業を取り巻く状況 (対象者・社会状況等) の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	1980年代に総務省のJETプログラムによりALTを招へいしてきたが、学校のニーズに合った人材配置が必要になったため民間会社を活用し小中学校へネイティブスピーカーを配置してきた。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	H23より小学校5、6年に外国語活動が必修となり、H24より中学校における外国語 (英語) 授業が週4時間となる。外国語コミュニケーション能力の向上と異文化を知る上でより一層充実が必要。
③ 事務事業に対して関係者 (市民、事業対象者、議会等) からどんな意見・要望が寄せられているか?	2020年に開催が決定した東京オリンピックに向け、より一層の国際化、情報化が進んで行く昨今、外国語のコミュニケーション能力の向上の必要性は重要となってきている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過 (取り組みしていない場合はその理由)	学校現場のニーズを調査し実態を把握した上で、本市の仕様に則った人材の確保を行うため、民間業者に業務を委託し、業務内容及び経費面について見直しを図った。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	芦安小中学校の英会話科へ対応できる専属ALTを確保するため、配置人数を1名増やし対応した。

事務事業名	外国語指導助手配置管理事業	所属部	教育委員会	所属課	南アルプス教育推進課
-------	---------------	-----	-------	-----	------------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 小中学校の外国語の授業においてALTと触れ合うことで、ネイティブスピーカーのコミュニケーションスキルを学ぶことができる。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 公教育の場で行われる外国語授業で教鞭をとる立場の外国人を確保するため。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input checked="" type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 公教育での外国語教育が現状のような状態である場合、ALTの配置は適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 英会話科や外国語のコミュニケーションスキルは、ネイティブスピーカーの指導が有効であり、今後指導内容や担任の先生方との連携をさらに図り、成果の向上を図ることは可能である。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input checked="" type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 外国語指導助手(ALT)のコミュニケーションスキルを活用した授業づくりが出来なくなる。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 小・中学校において、担任や教科担任とのチームティーチングが出来なくなる。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 業務の一部の管理を民間業者へすでに委託しているため。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 業務の一部の管理を民間業者へ委託しているため。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 公教育での外国語教育が現状のような状態である場合、ALTの配置は適切である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	小中学校の外国語活動や声安小中学校の英会話科を充実させるため、ALTを1人増員して9名を配置した。今後ALTの持つアイデアや技術を活かした英語プログラムを充実させ、市内小中学校での外国語授業を充実させていく。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 声安小中学校の英会話科を充実させるため、ALTのアイデアや技術を活かしたプログラム(例として、姉妹都市とのスカイプ交流など)を企画していく。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 配置の見直しや現場のニーズ把握のためのアンケート調査。ALTの指導向上を目的とした研修を開催すること。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑪</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	③	コスト削減優先度評価結果	⑪																	
成果優先度評価結果	③																					
コスト削減優先度評価結果	⑪																					